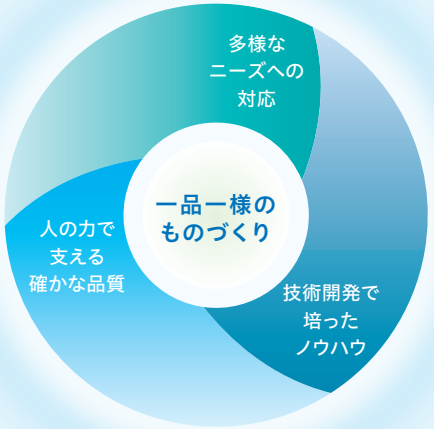
日本車両の強み

当社は、お客様からのご要望に応じて製品を個別に設計・製造する、いわば「一品一様のものづくり」を基本とするビジネスモデルを強みとしています。4つの事業においては、お客様ごとの課題や外部環境の変化を踏まえたニーズの把握、デジタル技術を含む多様な技術により培った技術開発、そして現場主導での改善活動や人材育成により支える品質向上を三位一体で推進し、常にお客様のニーズに応える製品を提供することで、ステークホルダーからの信頼と企業価値の持続的な向上を実現しています。



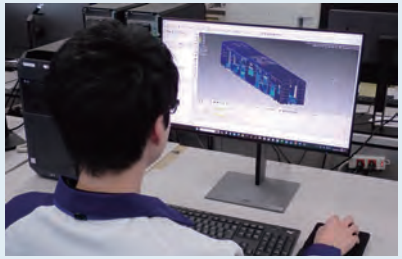
多様なニーズへの対応

お客様のご要望や困りごとを的確に捉えることが、当社におけるものづくりの出発点です。近年では、気候変動リスクなどの地球環境問題や少子高齢化に伴う労働力不足への対応などの社会課題により、お客様のニーズは一層多様化しています。当社はこうした変化をビジネスチャンスと捉え、環境負荷の低減や自動化・省力化に資する製品の開発を通じて、付加価値の高い製品の開発につなげています。



技術開発で培ったノウハウ

当社は130年にわたり、「インフラストラクチャー創造企業」として鉄道車両事業を起点に多様な分野へ挑戦し、技術開発を通じて独自のノウハウを蓄積してきました。これらの知見を常に磨き続けることで、お客様の期待に応えています。近年では、デジタル技術やAIの活用にも積極的に取り組み、ものづくりの効率化、お客様に魅力あるサービスを提供する新たなビジネスモデルの検討、新たな製品の創出を目指しています。



人の力で支える確かな品質

品質はお客様の信頼の源であり、品質不良によるお客様からの信頼の毀損は、今後のお客様との関係性や案件受注に影響を与えかねないため、当社にとって極めて重要な要素です。その品質を支えているのは、紛れもなく社員一人ひとりの力です。決められたルールの遵守に加え、品質の確保・向上に向けて自ら考え、行動できる人材の育成を重視しています。「ものづくりは人づくり」の信念のもと、現場主導での改善活動や教育研修を通じて、持続的な品質向上に取り組んでいます。

